



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2009-2010

地区方針 「歴史に学び変革と進歩を」
IMテーマ 「縁づくり」

12月は「家族月間」です

CONTENTS

1. ガバナーメッセージ	1~2
2. RI会長メッセージ	3
3. ガバナー日誌	4~5
4. 1992~1993年度パストガバナー 大澤 徳平	6~8
5. パストガバナー 楠 公延	9
6. 地区大会実行委員長 畑地 浩	10~11
7. 10月の寄付金傾向	12
8. 新入会員紹介	13~14
9. ポールハリスフェロー・米山功労者(10月分)	15~16
10. 「ロータリーの友」地区だより	17~18
11. ハイライトよねやま	19
12. ロータリー文庫通信	20
13. 「友」インターネット速報	21
14. 出席報告 (2009年10月)	22
15. 12月の行事予定	23



RI会長
ジョン・ケニー
(スコットランド)



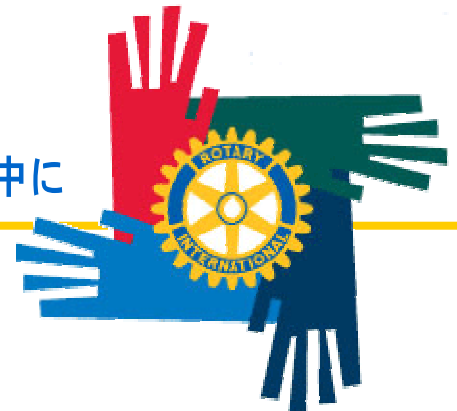
2640地区ガバナー
村上 有司
(田辺RC)

NO.6 12

ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F
TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643
E-mail: info@rid2640g.org
URL: <http://www.rid2640g.org/murakami/>



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 村上有司



第1、“ロータリー家族”月間によせて

- 1、今年度の地区活動キーワードは、“縁づくり”です。ポール・ハリスらは、「胸襟を開いて語り合える友人をつくりたい」との一念で、ロータリーを立ち上げましたが、そのDNAは、104年を経過した今日でもロータリーには受けつがれています。123万人を越える世界中のロータリアンは、「世界平和と人類の幸せ」を願って、一つの船に乗り合わせた縁者です。

向笠廣次国際ロータリー元会長（1982～1983年度）は、「人間はひとつ—世界中に友情の橋をかけよう」と提唱されました。その頃のロータリークラブは、「例会への出席者はロータリアンのみ」と考える人々が多かった時代ですから、このテーマは進歩的であったと言えるかもしれません。しかし、時代が進み、社会全体が変化しているのですから、ロータリー組織も閉鎖性からの脱却が必要です。ロータリー活動は、家族の理解を得てこそ実現出来るのです。ロータリーでの出来事を、家族と共有する必要があります。出来る限り、配偶者や子・孫等を誘ってロータリー行事に参加し、楽しみを分け合うことが大切です。“社会と共に”が、最近のロータリーの風潮です。国際ロータリーが、今月を“ロータリー家族月間”としたのは、これを推奨するためです。

- 2、ロータリー家族（ファミリー）とは、ロータリアンの配偶者・物故会員の配偶者・ロータリアンの子供や孫その他の親戚・ロータリー財団学友・研究グループ交換メンバー・ロータリー青少年交換学生・インターアクター・ローターアクター等々広く含みます（手続要覧第275頁）。この外に、プロバスメンバーも、ロータリーファミリーに入れてよいと思います。

第2、“ロータリー財団地域セミナー”・“ロータリー研究会”に参加して

- 1、“ロータリー財団地域セミナー”と“ロータリー研究会”が、去る11月17日～20日迄、東京お台場のホテル・グランパシフィックで、ジョン・ケニーRI会長御夫妻・グレンE・エステス財団管理委員長御夫妻が出席して開かれました。この会議は、日本の所属ゾーンI・II・IIIのガバナー・パストガバナー等々多数が参加して、1年に1度開かれるものです。
- 2、財団地域セミナーでは、2013年7月から開始される“ロータリー未来の夢計画”に関心が強く、その説明と質疑が盛んに行われました。世界中100のパイロット

地区では、2010年7月から3年間試行錯誤をしてテストを繰り返します。“ロータリー未来の夢計画”の内容は、現在では流動的でテストの結果も参考にして最終的に固まります。当地区は“パイロット地区”ではないので、しばらくは従前通りの形で進行することになります。しかし、2010年～2011年度の寄付金は、新制度下での活動資金となることを考えれば、遠い先のことではありません。今から十分検討しておく必要があります。

- 3、ジョン・ケニーRI会長は、以前会った時より少し痩せられたように思いました。世界中を飛び回っているから、疲労が極に達しているのかもしれませんが。ジョン・ケニー会長は、ロータリー研究会で、「新年度が始まって半年が過ぎようとしています。『THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS…ロータリーの未来は、あなたの手の中に』は実践されていますか。このテーマは、けっしてむづかしいことをお願いしているわけではありません。世界中のクラブが、身の丈にあった活動を着実に実行してくればよいのです。ロータリーは、ロータリー本部のあるエバンストンが創り出すものではなく、最高・最終の単位であるロータリークラブが創り出すものです」と確認されるように述べられました。挨拶の中で、「財産をたくさん持っているから幸せなのではありません。財産の中から、他人のために少しでも分け与えられた時に、幸せが感じられるのです」と付け加えられたのが印象的でした。
- 4、全国34地区の同期ガバナーに出会えるのも、この大会の楽しみです。既に、地区大会や公式訪問を終え、一息ついているガバナーも多くいました。各地区の情報交換や苦労話に花が咲きました。同期ガバナーは、1年間各地区で同じ苦労を重ねることから、戦友に例えられます。彼らも亦、重要なロータリーファミリーとして長く付き合うことになるのです。





親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

「ロータリー家族」というアイデアは単純なものです。そして、私たちは毎年12月に家族月間を祝います。すべてのロータリアンはロータリー家族の一員です。しかし、私たちの家族は120万人の会員よりもはるかに多いのです。

ロータリーの家族には、ロータリアンの配偶者や子どもたち、ロータリー財団プログラムの参加者や学友、世界中のロータリー社会が実施した何万というプログラムの一翼を担った人々など、私たちの仕事にかかわったすべての人々や子どもたちが含まれています。

ロータリーの若い家族は未来を約束する

「ロータリー家族」の最も若い世代は、ローターアクトクラブやインターアクトクラブの会員、RYLA（ロータリー青少年指導者養成セミナー）の参加者、国際親善奨学生、毎年8,000人を超える青少年交換学生たちです。どのような家族もそうですが、これらの若者たちは、私たちの明るい未来を約束しています。もちろん、これらの若い人々の多くが、いつの日かロータリアンになってくれることは私の偽らざる願いです。しかし、ロータリーは現在でも彼らの一部であり、彼らはロータリーの一部なのです。

ロータリーは私と妻の両方を必要とした

私の妻、ジューンと私は結婚して40年以上がたちました。そして私がロータリアンになって、ほとんどそれに近いくらいの年月が過ぎました。当時、女性はロータリークラブの会員になる資格はありませんでしたが、ジューンは、私が初めてグランジマスロータリークラブに入った日から今日に至るまで、「ロータリー家族」の一員でした。そのとき以来、ロータリーでの奉仕活動が、私たち二人を必要としたことはいうまでもありません。しかし、私たちがまいた種以上の収穫を得たことも確かです。

競合することのないロータリーの活動

私は、ロータリークラブの会員であることは、家庭生活と家族の相互作用を強めることができる、また、そうあるべきであると信じています。私たちがより多くの、若くて資格のある人たちを魅了するために活動するとき、現在の若い専門職業人たちは、仕事と家族への責任のバランスをとることが多いことを心に留めておくのが賢明でしょう。

ロータリーの奉仕への献身することは、家族への責任と競合するものではなく、補完するものなのです。仕事のない日に例会を設定したり、家族が参加できる活動を企画したり、また、可能なときにはいつでも家族を歓迎することによって、私たちはロータリー家族の一人ひとりが、本当により大きなロータリー家族の一員であると実感できるように手助けをします。

それぞれのクラブは、ロータリアンたちとその家族—それにロータリー家族がバランスよく作用するよう努力しなければなりません。家族として一緒に活動することこそ、今日のロータリーが、より強力な明日のロータリーへと成長することが保証されているのです。

(今月は、IMを中心に報告します)

1、第5組IM

第5組IMは、10月31日、松原商工会議所会館で、松原ロータリークラブのホストによって企画・実施されました。前田ゼネラルリーダーの御指導の下、井上会長・西浦委員長はじめ会員の皆様方で1年間に亘り綿密な計画を立ててくれました。

第2部基調講演「21世紀の歴史」は、今我々が真剣に考えなければならない多くの問題点を鋭く指摘するもので、たいへん勉強になりました。

第3部「縁づくり」懇談会では、IM5組の皆様方の友好確認に役立ちました。

2、第7組IM

第7組IMは、11月7日ホテル・レイクアルスターアルザ泉大津（泉大津）で、和泉南ロータリークラブをスポンサーとして開かれました。水田ゼネラルリーダーの指導により、石田会長・辻林実行委員長以下会員一体となり、一年間準備してくれました。

第2部の基調講演は「地域社会との縁づくり」でしたが、ユーモアの中に現在社会の混迷と不安を指摘するもので、考えさせられることが多くありました。

第3部“縁づくりパーティー”は、今年度地区キーワード“縁づくり”を視野に入れた楽しい企画でしたが、翌日の予定（愛知地区大会）のため、途中退席することになったのは残念でした。

3、第1組IM

第1組IMは、11月14日、コガノイベイホテル（白浜）において、白浜ロータリークラブのスポンサーで開催されました。白浜ロータリークラブは、創立49年を迎える伝統クラブですが、会員14人となりIMの準備はたいへんだったと思います。そんな中ですが、中村会長・堅田実行委員長以下会員一体となって、立派に仕上げてくださいました。

今人類の最大関心事は、“地球の環境”です。取りわけ、地球の三分の二を占める海の変化は心痛めるところです。第2部のメインテーマは「海と地球環境」でしたが、たいへん示唆に富むもので勉強になりました。

第3部の“縁づくり”懇親会では、会員同志が思い切り杯を傾けて語り合い有意義でした。

4、第4組IM

第4組IMは、11月21日、粉河ふるさとセンター（粉河）において、粉河ロータリークラブのホストで開催されました。粉河ロータリークラブは、会員減少に苦しみ今19人でクラブ運営をしています。中島ゼネラルリーダーの御指導の下、谷口

会長・福岡実行委員長ら会員が一体となって、今日の会議を準備してくれました。ロータリーは、“世界平和と人類の幸せ”のため発展を続けていますが、時代に合わせ“変革と進歩を”遂げる必要があります。特に、次の世代を任せる後継育成は最も大切なことですが、一朝一夕には育ちません。ロータリーを不滅のものにするためには、着実に人づくりに励まなければなりません。今日の基調講演「人づくりはモノづくり」は、時宜にかなったもので、たいへん参考になりました。

5、第6組IM

今年度第6組IMは、11月28日、全日空ゲートタワーホテル（泉大津）で、りんくう泉佐野ロータリークラブのホストで開催されました。成川ゼネラルリーダーの指導の下、船倉会長・中林実行委員長を先頭に会員一同力を合わせて準備してくれました。

IM（インターシティミーティング）は、近隣クラブが集って、情報と意見の交換をし、日頃の活動状況を検証して将来に向かって話し合う場ですが、その目的は充分達成されたと思います。

これからのロータリー活動は、“社会のニーズ”に応えることが必要です。今我々の最大の関心事は、美しい星・地球が、いつの間にか人間の住めない場所になりつつある現状です。第2部の基調講演「環境を考える」は、この愚行を一時も早くストップすることの大切さを教えてくれる貴重なものでした。

懇親会での「かぶりす」の音色はすばらしいものでした。それにも増して、基調講演者バイマー・ヤンジンさんが、無理な注文を聞き入れてくれて、童謡“ふるさと”を歌ってくれたのには感動しました。心を癒してくれる一時でした。

6、堺おおいずみRC25周年行事

堺おおいずみロータリークラブが創立25周年を迎えられ、10月31日、多くの来賓・会員ら関係者が参加して、全日空ゲートタワーホテルで盛大に記念例会と祝宴を開かれました。

同クラブは、堺東ロータリークラブを親クラブとして、昭和59年10月31日、30人のチャーターメンバーによって誕生しました。以来、真剣にロータリー理念の普及を目指し、真面目なクラブとして多くの成果を挙げてこられた優れたクラブです。地域社会への奉仕活動に心を尽くされてきた歴史はすばらしいものがあります。今回25周年記念事業として、「防災スタンプラリー」を主催され、多くの人々の参加を得て地域社会のニーズに応えられようとされたのはすばらしいことで、ロータリー活動の鑑みといってよいと思います。

今後一層の発展を祈ります。



『縁づくり』は『人づくり』

1992～1993 年度パストガバナー **大澤 徳平 (堺RC)**



村上 有司ガバナーの本年度地区テーマの一つに『縁づくり』がある。そこで私は『奉仕を志す人々の集まり』（奉仕団体ではない）であるロータリークラブ に入れていただいたお蔭で出会った素晴らしい方々との縁を思い出すままに記してみよう。

まずは、私を堺RCに推薦していただいた**高木 幸太郎** 氏から話を進める。堺が生んだ昭和の最後の旦那さま（堺では旦那はんと呼ぶ）毎週お会いする度に何かしら新しい栄養タプリーなものを戴いた。職業分類は「歯車製造」ご趣味は洋画（チャールズ会）能楽・謡曲・仕舞・能面（観世流）・川柳（番傘本社同人）俳句・常磐津・小唄 とクラブ の名簿に記載されている。これほどの多趣味の方は他にはいらっしゃらない。旦那はんです。堺RC 25周年記念の年の会長をつとめられ、私は親睦活動委員長に指名された。

次は **飯沼 剛** 先生（1980～81年度ガバナー）眼科医 趣味は 読書（特に推理小説がお好き）・音楽鑑賞（クラシック）です。クリスチャンでロータリーを広めるために生まれてこられた方だと思ふほどのロータリー博士です。後々私をガバナーに推薦された中心人物で（唯一のオオ ミステーク）責任を感じられたのか色々ガバナー心得を教えてくださいました。例えば『何か人に頼む時は、忙しい人に頼みなさい』（回答が早い）『クラブでは一会員ですよ』（地区に出ればPGですが）私はガバナーが済んだ翌年クラブ親睦活動委員長を自ら希望して一会員に戻りました。

次は **村田 正雄** 氏 クリスチャンで真鍮製品製造の重役さんです。日本ボーイスカウトのNo. 2 子供心を何時までも持ち続けなさいと教わった。姉妹クラブのバークレーRCに交換学生を18名連れて行く団長に指名され素晴らしい経験をさせていただきました。入会時の会長さんです。

次は **八木 富士太郎** 氏 研磨材製造の社長さんです。兎に角 怖い人・よく知っている。即行動の人。カメラ好きでクラブで写真同好会を立ち上げた。入会時の幹事さん。次の年は会長さん。ガバナー最適任者だったがなさらなかった。

次からは他クラブの方々　ロータリー研究会で出会った東京東RCの佐藤 千寿氏（1974～75年度G）若く56歳でガバナーになられた。ガバナー就任の紹介文が『友』に載っている。（文・神守源一郎氏）『砂漠の果てに、新しいが妖しくまたいたのを見て、東方の博士たちは、救い主がここに誕生したと告げたそうだが、今度、東京東RCの上に輝く新しい星は、日本のロータリーにとって、何を意味するであろうか。

我々は大きな期待をかけているのである。この新しい星の名は佐藤千寿。きらめく金の星である。・・・』書き出しから違っている。職業分類は合金製造・千住金属工業の会長さん・先日91歳で亡くなられた。（『友』の2月号に深川純一氏の偲ぶ文が掲載されている）兎に角　会社を愛し、社員を大事にされ、ロータリーを心から愛された人である。ご趣味は古陶鑑賞家であると同時に大蒐集家である。ご自宅の一室に展示されているのを見せていただきましたが、更に会社の隣接地に美術館（石洞美術館）を建てられ一般にも見られるようにされた。私が世話人をさせて頂いていた関西ロータリー研究会にも度々おいでくださり、齒に衣を着せないお言葉でロータリーを語っていただいた。例えば『会員増強』では質と量の問題は『悪貨は良貨を駆逐する』『悪魔は、善人に対して、自分に協力してくれとは決して言いません。あなた方はただ黙ってみていてくれ、と言うだけです。そうすれば、この世は悪魔の思いのままになります。ロータリーの皆様は善人です。善人は黙ってはいけません。良いものは良い。悪いものは悪いとはっきり言いなさい』ポール・ハリスもこう言っています。『あいつに任せておけ』という寄生虫は退治しなければならぬ。ロータリーにもこういう寄生虫が随所にいる。と　余談ですが私の父も大変な蒐集家でしたので、一度父の遺品を鑑定してもらったところ、『父上は大変な目利きだ。この一点は図録にも載ってる絶品だ』と褒めていただき嬉しくなり仏壇に報告しました

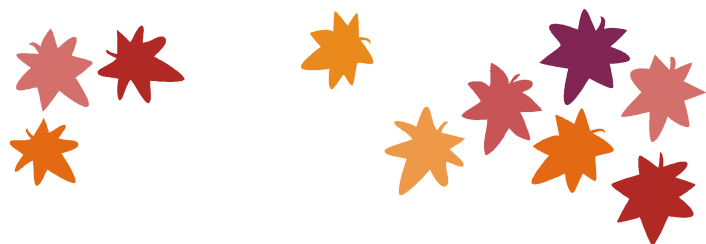
次は香川の高松RCの三宅 俊三 氏。外科医の病院長　世界大会で名刺交換　以後関西ロータリー研究会には欠かさずご出席くださり、熱くロータリーを語り合いご支援を頂きました。三宅先生から戴いたお父上のご本に書かれていた『鏡の前の外科医』　古い有名な話なので皆様もご存知かと思いますが、『皆様もご承知のように外科の病院にいきますと、必ず手術室に入る前には大きな鏡がございます。外科医が愈々手術室に入る前に鏡の前で指の消毒を致します。消毒をしながら自分の前の鏡といつも見合う。これは何を見るのかということ、この手術は人間としてやるべきか否やというわけです。この病気に対して、この手術はやらなければならないかどうかということをも反問する訳で

す。もう一つこの手術を行うについて自信があるかどうか、完全な手術をする自信があるかどうか自問自答するのです。・・・終了後手術室を出た時もう一度鏡の前に立って汚れた指を洗いながら、見立てとおりであったか。正しい手術が出来たか、自身の持つ技術を発揮できたか、これを自問自答するのです』 我々ロータリアンも毎日朝の鏡・夕の鏡で自問自答すべきでしょう。

次は埼玉の寄居RCの 森 三郎 氏 職業分類は陶芸 経歴が変わっている。京大法学部卒 大蔵省 浦和税務署署長・日本専売公社広報課長(このとき「今日も元気だ タバコがうまい」標語を作る) 総裁秘書・民間会社の常務さん・神主さん・民話収集家・お天気博士・陶芸家と幅も奥行きも深い人生を過ごされた人。実にお話がうまい。聞き手はすっかり虜になる。同期のガバナーのご紹介で関西ロータリー研究会で初めての出会いである。遠い埼玉の寄居から来ていただいて2時間の講話ではもったいないので、高野山の龍泉院 (楠 公延Gにお世話になりました) で8月に1泊研究会が何回か続いた。午後2時から『ロータリーの職業奉仕』夕食を挟んで質疑応答 翌朝のお勤めのあと朝食 再び放談会を昼まで とタップリ時間をかけてロータリーを語り合った。日本語の『親身になる』 日本人の心 何事にも親身になってお世話するロータリーの心ですよと教わった。

話は尽きない 限られた紙面またの機会に続きと致します。兎に角ロータリーに入れていただいたお蔭で、このエンブレムのお蔭で毎週の例会・色々な会合に出席して多くの素晴らしい方々と出会い縁づくりが出来た。『縁づくり』は『人づくり』知らず知らずのうちに人を作る。作られる。これからもまだまだご縁は続くでしょうし、新しいご縁が出来ると思いますとこのロータリーの世界からは足は洗えない。洗う時は昇天の時。ロータリー 万歳 !!

「声掛けて 名刺交換 縁づくり」「寛容の 心肴で 酌み交わす」 (大澤 徳平)
(2009. 10. 12.)



国際ロータリー第 2640 地区パストガバナー 楠 公 延



いよいよ 12 月、年の瀬もせまり何かとお忙しいことでしょう、12 月は 10 ある強調月間の 1 つ『家族月間』であります。

R.1 理事会は 1996 年 2 月第 2 週より行ってきました『家族週間』をさらに多くの家族達とともに奉仕活動を行うため『家族月間』と改め、毎年 12 月に実施することとし、家族も配偶者だけにとどめず、元会員の家族をはじめ、インターアクター、ローターアクター G. S. E メンバー、交換学生、米山奨学生等々とロータリーに関連した全ての人々をロータリーファミリーとして拡大しましたことは、ご存じの通りです。

ポール・ハリスは『ロータリーへの私の道』の中で「私にとってロータリーは少年時代に対する思い、村での生活が深く残っていて、これを大事に育てるために私はロータリーをこしらえたようなものだ」といっていますし又「私にとってクラブの集会に出席することは、あの谷間の家に帰るのと同じことだったのです」ともいっています。

1870 年代バーモンド州ウオリングフォードの閑静な村でポール・ハリスという一少年の心に育まれた家族愛、隣人愛、友情、美しい自然への思いが 1905 年 2 月 23 日シカゴで花を咲かせたのがロータリーであると思っています。ロータリーの原点が家族や友人、隣人への思い自然への憧れであったことに思いを致され、ロータリーファミリーといわれる人々と親睦のみではなく奉仕活動もともにし、未来のための良質の会員の増強や退会防止に役立てられ、ロータリアン生活をより心豊かにお過ごしなられ、月間を意義あるものにして下さればと願っています。



つれもて行こら地区大会へ

ホストクラブ 田辺 RC
コホストクラブ 白浜 RC 田辺東 RC
田辺はまゆう RC
地区大会実行委員長 畑地 浩

久方振りに紀南で催す地区大会のご案内を申し上げます。村上ガバナーの方針のもと、地区のキーワード『縁づくり』を体現すべく、手作りの地区大会に取り組んでおります。ほぼ確定した行事予定は、

4月17日（土）

(a) 指導者研修セミナーとして、ホームカミング制度を利用して元米山奨学生、元財団奨学生による講演並びに懇談会

(b) RI 会長代理を囲んでの歓迎晩餐会

以上 於 白浜町・古賀の井ホテル&ベイホテル

4月18日（日）

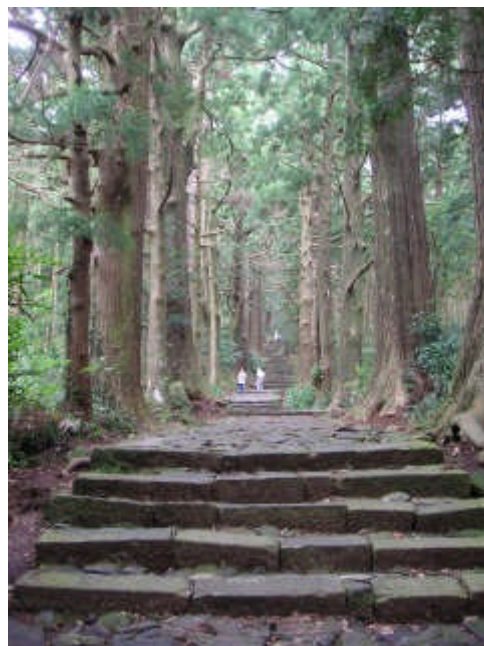
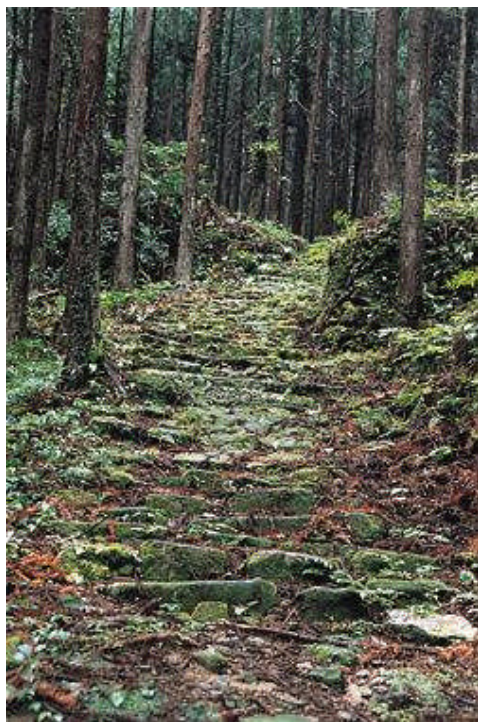
(a) 新宮港を母港として活躍中の『地球号』の仕事ぶりを、独立行政法人海洋研究開発機構の平朝彦理事による講演と映像

(b) 古座川で良くカヌーを漕いでいらっしゃる 月尾嘉男東大名誉教授の講演

以上 於 田辺市紀南文化会館

そしてこれらのセレモニーの間をつなぐ郷土芸能や演奏会、イベント等々を盛り沢山に計画しております。2640 地区会員並びにご家族の皆様 お誘いあわせの上、大勢のご参加をお待ちしております。

海底下7000mの世界へ！！
地球深部探査船「ちきゅう」



熊野古道





10月の寄付金傾向

10月分合計額 139,191,289円

累計額 484,499,770円 (前年度比 6.84%減)

参考 前年度10月分合計額：151,435,953円、累計額：520,098,724円

普通寄付金

10月当月 6,972,000円

10月末累計 215,500,250円

(前年度比 0.55%減)

(予算達成率 49.9%)

普通寄付金上期分は 2,078 クラブ(90%)から納入されました。(内、年額納入 14%)22 地区が納入割合 90%を超えました。上期分のご寄付はできる限り 12 月中にご送金いただくよう地区関係者の皆様には該当クラブへご連絡ください。よろしくお願ひ申し上げます。

★普通寄付金納入状況・上期分 (納入数/クラブ数)

地区	納入数/ クラブ数	納入 割合	地区	納入数/ クラブ数	納入 割合
2500	58/66	88%	2610	64/66	97%
2510	58/73	79%	2620	72/80	90%
2520	66/84	79%	2630	77/80	96%
2530	64/66	97%	2750	75/82	91%
2540	32/42	76%	2760	77/82	94%
2550	41/50	82%	2780	65/68	96%
2560	55/57	96%	2640	69/72	96%
2570	完納	100%	2650	84/96	88%
2770	76/81	94%	2660	82/85	96%
2790	77/83	93%	2670	67/74	91%
2800	49/53	92%	2680	67/74	91%
2820	47/59	80%	2690	65/67	97%
2830	33/40	83%	2700	53/59	90%
2840	45/47	96%	2710	73/74	99%
2580	67/71	94%	2720	54/76	71%
2590	完納	100%	2730	49/64	77%
2600	51/57	89%	2740	50/57	88%

合計：納入数 2,078RC

地区ロータリークラブ数 2,301RC

普通寄付金納入実績 10月31日現在、当会入金分

特別寄付金

10月当月 132,219,289円

10月末累計 268,999,520円

(前年度比 11.34%減)

(予算達成率 26.4%)

米山月間ということで、多くのロータリアン、また学友からもご寄付をいただきまして、ありがとうございました。残念ながら、10月末累計額は、前年度比の減少幅が更に広がり、約3,440万円の減少となりました。今後ともご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

☆ 創立記念寄付クラブ (単位:万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2570	秩父	5	2600	塩尻	10
	和光	10	2630	津北	10
2770	春日部	5	2760	半田南	30
2790	東金	15		瀬戸	30
2820	潮来	10	2670	今治	50
2590	横浜港南	10	合計	11クラブ	185

☆ ガバナー公式訪問記念寄付クラブ (単位:万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2590	川崎中央	10	2590	横浜 戸塚西	10
	川崎幸	5		横浜 鶴見北	10
	新横浜	10	2760	あま	10
	横浜泉	10		津島	10
合計		8クラブ			75

☆ 学友からの寄付

*張 虞 安氏(中国/1998-2000年/近畿大学大学院/交野RC)から\$1,000(日本円に換算後、84,034円)のご寄付をいただきました。以前、ハイライトよねやま93号でもご紹介しました張氏は2007年から寄付を続けて、今回で3回目です。米国に滞在する同氏がロータリーや米山奨学会へ心を寄せる思いは上記の93号に載せています。HPからバックナンバーを読むことができますので、まだご覧いただいていない方は是非ご一読ください。

新入会員紹介

新しい友達が増えました
手に手つないで"友の輪"を！！

10 月

	<p>ふじばやし のりかず 藤林 範員 所属クラブ：有田南RC 職業分類：不動産業 生年月日：1952年6月8日</p>		<p>なか ともや 中 知哉 所属クラブ：有田南RC 職業分類：土木資材販売 生年月日：1981年1月20日</p>
	<p>あまくら かずみ 天倉 利美 所属クラブ：御坊南RC 職業分類：宝石・貴金属販売 生年月日：1960年4月16日</p>		<p>まつばら たかし 松原 孝司 所属クラブ：羽曳野RC 職業分類：商社 生年月日：1963年12月5日</p>
	<p>いむら まさのり 井村 雅則 所属クラブ：羽曳野RC 職業分類：商業銀行 生年月日：1959年6月4日</p>		<p>おかもと きょういち 岡本 恭一 所属クラブ：橋本RC 職業分類：青果配布 生年月日：1951年1月5日</p>
	<p>やぶうち あきら 藪内 章良 所属クラブ：泉佐野RC 職業分類：銀行 生年月日：1963年9月5日</p>		<p>まえ きよし 前 清 所属クラブ：高野山RC 職業分類：和菓子製造業 生年月日：1948年7月10日</p>
	<p>あべ ひろし 安部 宏 所属クラブ：堺RC 職業分類：情報通信 生年月日：1958年9月13日</p>		<p>さかい まこと 酒井 誠 所属クラブ：堺フェニックスRC 職業分類：社会保険労務士 生年月日：1963年4月20日</p>
	<p>おかはな ひでと 岡鼻 秀人 所属クラブ：新宮RC 職業分類：保険一般 生年月日：1960年1月16日</p>		<p>みやわき ていじ 宮脇 帝二 所属クラブ：太子RC 職業分類：税理士 生年月日：1963年6月2日</p>
	<p>おがた みちる 小形 みちる 所属クラブ：和歌山アゼリアRC 職業分類：デイケアサービス 生年月日：1958年7月26日</p>		<p>とち お しげゆき 朽尾 重幸 所属クラブ：和歌山南RC 職業分類：ビール製造業 生年月日：1966年12月20日</p>

ロータリークラブへの入会

ロータリーは、世界中の事業および専門職業人のリーダーが集まる国際的組織です。人道的な奉仕活動を行いながら、あらゆる職業における高い道徳的水準を奨励しています。

ロータリーへ ようこそ！新会員となった皆さんには、ロータリークラブと国際ロータリーを通じて、クラブ、地元地域、さらには世界中の人々と交流する機会が提供されています。

経験豊かなロータリアンは、参加こそが鍵であると口を揃えて言っています。関心のある分野の委員会に参加したり、例会の挨拶係を引き受けたり、奉仕プロジェクトのチームに加わるなど、積極的にボランティアとして参加してください。こうした活動に参加すればするほど、クラブの仲間との親睦が深まり、ロータリーについて深く理解できるようになるでしょう。

ロータリークラブへ入会しませんか
今 地域のロータリークラブは
新しい会員を求めています





Paul Harris Fellow

PHF・ベネファクター（10月分）

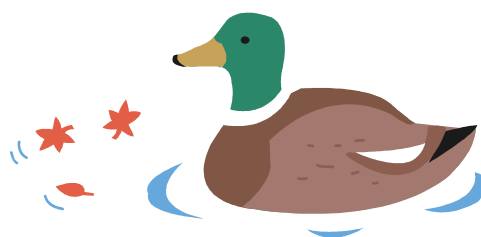
お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
守行 善五郎	BE	貝塚コスモス	武内 宗隆	3	那智勝浦
細川 治	4	河内長野東	浅香 収	BE	堺南
笹倉 太司		岸和田南	小出 十代和	2	堺清陵
別所 啓司	1	岸和田南	吉村 誠治	2	堺清陵
松本 六三	1	岸和田南	橋本 恵治	2	白浜
近藤 大玄	1	高野山	和佐 昌彦		田辺はまゆう
平野 一夫		高野山	神谷 尚孝	18	和歌山東南
楠 公延	19	高野山			



米 山 功 労 者（10月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
川村 克人	5	有田	平野 一夫	1	高野山
上野山 捷身	3	有田	近藤 本淳	2	高野山
中野 恵子	4	有田2000	楠 公延	47	高野山
宮崎 勝	1	羽曳野	井上 浩	1	大阪金剛
喜多 啓允	5	橋本	赤松 健一	4	堺泉ヶ丘
小西 捷治	4	橋本	中井 文哉	3	堺泉ヶ丘
溝端 荘悟	6	橋本	佐々木 甫	8	堺泉ヶ丘
田倉 弘	5	橋本	角谷 勝男	1	堺泉ヶ丘
安川 忠治	3	橋本	吉野 惣太	4	堺泉ヶ丘

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
米田 恵一	2	橋本	前内 禧宏	4	堺おおいずみ
花畑 重靖	1	海南東	田中 源治	4	堺おおいずみ
山東 剛一	9	海南東	大久保 芳尚	2	堺清陵
山畑 弥生	3	海南東	瀬川 勉	4	堺清陵
山口 征一	3	河内長野東	森 裕貴	1	堺東南
室田 光重	6	岸和田	武田 耕道	2	堺東南
西村 政和	9	岸和田	梅村 進	8	新宮
櫻井 昇	5	岸和田	北山 晴造	3	和歌山
浜中 雄二	32	岸和田東	脇坂 三蔵	3	和歌山
河崎 茂子	4	岸和田東	由良 禎造	1	和歌山
夏原 晃子	4	岸和田東	根岸 憲一郎	4	和歌山城南
藪 和弘	4	岸和田東	稲田 武彦	7	和歌山西
雪本 孝治	6	岸和田東	竿本 秀雄	4	和歌山西
笹倉 太司	1	岸和田南	湯川 紘司	3	和歌山西





第6回「ロータリーの友」地区だより(12月号)



早や師走となりましたが、ガバナー公式訪問も一段落する事になりました。12月は家族月間です。ロータリアンとその家族、それに広い意味での「ロータリー家族」の結束が、村上ガバナーが掲げる“縁づくり”を強いものにする為にも必要である事を感じます。

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

○RI会長メッセージ ----- 1頁

ジョン・ケニー会長は「ロータリークラブの会員であることは家庭生活と家族の相互作用を強める事ができる」としています。そして「ロータリー家族」を含めて「一緒に活動することこそ、より強力な明日のロータリーへと成長する事が保証される」と強調しています。

○家族とともに ----- 5～10頁

家族が参加したロータリー活動を紹介してあります。

中でも「旭川の源流を訪ねて」は、会員、会員夫人、親、子ども、孫、米山奨学生等「ロータリー家族」62人が参加し、植樹した記事です。小学校5年生 内山綾乃さんの「植樹をして」の作文は家族と参加する意義を強調するのに十分な内容です。

○ロータリーとともに歩む配偶者たち ----- 11～13頁

国際ロータリー元会長夫人 セリア・ジアイさんの2004年国際協議会における講演内容ですが、ポール・ハリス夫人のジーン・トンプソン・ハリスさんの多大な貢献の話、二人のアンの話、いずれも昔の話ですが、今も新鮮で配偶者に賛辞を送るべき内容でした。

○姉妹クラブが戦争の傷跡を平和の絆へと変えた ----- 18～19頁

真珠湾攻撃から68年、広島原爆投下から64年、パールハーバーRCと広島東南RCの姉妹クラブ誕生の話。両クラブの絆が戦争による大きな被害を乗り越えて、どの様に発展して来たか心暖まる記事です。

○第2回日台ロータリー親善会議 日月潭で旧交を温める ----- 22～23頁

第2回日台ロータリー親善会議の和気あいあいとした様子が述べられています。台湾米山学友会による日本人対象の奨学金制度があり、山下世莉さんが第一号で留学されています。中華ロータリー教育基金会もあり「日本ロータリアンへの恩返し of 気持ちです」と言う阮理事長の言葉は嬉しく感じました。27頁には「台湾学友会による日本人対象の奨学金がスタート」の記事が掲載されています。

○世界にはばたけ！ 米山学友⑩ ----- 26～27頁

アフリカ東部、赤道上にある国ウガンダは世界最貧国の一つ。米山学友のステュアート・マクブヤ・センパラさんは紛争やエイズで親を失った子供たちの支援活動を行い、自立への道を探りながら、母国の発展のために頑張っています。

○2009～10年度地区大会略報 ----- 28～31頁

各地で開催されている地区大会の様子が掲載されています。2640地区の地区大会は2010年4月17日、18日白浜のホテルベイ・コガノイ、田辺の紀南文化会館で開催されます。

★ 縦組

○清く、楽しく、美しく 囲碁棋士 武宮 正樹 ----- 2～6 頁
囲碁に於ける自分の棋風、信念を人生にあてはめ「楽しい時間、いい時間を長くもった人が勝利者です」と説いておられます。悔いが残る人生だったと思うなら、負けたという事です。楽しい時間を長くして嫌なことは忘れるのがいい人生を送る秘訣のようです。

○手に手 くらぶ探訪 ----- 7～11 頁
IT化で経費削減した横浜本牧ロータリークラブ
例会の会場費の値下げ、会報のペーパーレス化、印刷代の節減、人件費・通信費の減少等に努めた結果、活動費が潤沢になったというレポートです。人材豊富な横浜本牧RCを紹介しています。

○卓話の泉 ----- 12 頁
ご存知ですか介助犬 ウェルフェアポ-ト湘南理事長 関水 俊明 ----- 12 頁
介助犬の仕事内容がよく表現されており、障害者にとって介助犬がどれだけ負担を軽くしてくれるかよくわかりました。「機械でない、犬でしかできない心の介助というものがあります」という言葉に使用者の精神的な支えの重要性を感じます。

○俳壇 ----- 14～15 頁
「一人居のきままがうれし秋の夜」 和歌山・御坊 中野 賢一
「色付きて存在感の実紫」 大阪・河内長野東 阿久根 紀男

○歌壇 ----- 14～15 頁
「萩咲きぬ秋の夕風受けながら 紫の花静かに散らす」
大阪・堺東 竹山 時和

○柳壇 ----- 14～15 頁
「手加減はせぬと言いつつ負けている」 和歌山・田辺 東 冬彦
「一言が火種になるか和となるか」 大阪・大阪金剛 井出 俊太郎
「左手の白さ子供に指摘され」 大阪・泉佐野 赤井 聡宏

○言いたい、聞きたい ----- 16～17 頁
・花咲かぬ冬の日 敦賀 刀根 莊兵衛
京都の老舗の家訓の話から職業奉仕の理念を述べ、根、つまり理念さえ腐らなければ必ず花は開くとし、会員減少に悩む現在のロータリーは根を下へ下へと生やすときであり、会員自らを磨く時であると説いています。

○友愛の広場 ----- 18～22 頁
ウラジオストクでメイクアップ 岸和田北 西出 省三
ウラジオストク E C O ロータリークラブをウェブサイト調べ訪問されたとの事。R I のホームページのおかげで素晴らしい“縁づくり”をされた記事です。

○ロータリー・アット・ワーク 写真編 ----- 23～27 頁
A E D の実技研修 塚コスモスRC ----- 26 頁
1 2 月号では貝塚コスモスRCのA E Dの実技研修が紹介されました。
各クラブの皆さん、ロータリーの友への御投稿よろしくお願ひします。

「ロータリーの友」地区委員 廣本喜亮(田辺RC)
E-mail:hiromoto1026@ybb.ne.jp
TEL:0739-22-0571 FAX:0739-26-7307

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

ロータリーの友 創刊号 (1953年1月号)

1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されました。

分割後も、お互いのことを知っていたという思いがあり、両地区に共通の雑誌の発行が決まりました。創刊号は横組みでした。

ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ハイライトよねやま 117号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース



今月のトピックス

2009年11月13日発行

1. 寄付金速報 — 米山月間の成果は? —
2. 2010学年度奨学金申し込み状況
3. 日台親善会議で米山学友が活躍
4. 続々とホームカミングで学友が来日 — 地区を越えた招へいも可能に —
5. 米山奨学生招待事業を17年間継続 — 第2720地区 人吉RC —

【お知らせ】DVD絶賛配布中! ぜひご利用ください。

■寄付金速報 — 米山月間の成果は? —

10月までの寄付金は、前年同期と比べて6.8%減、約3,560万円の減少となりました。普通寄付金が0.6%減、特別寄付金が11.3%減と、月間前に比べ、より一層厳しい状況です。

今月の寄付額1億3,900万円は、この10年間では2004年度に次いで2番目に少ない数字ですが、このような経済状況の中、学友を含め多くのロータリアンの方々からご寄付をいただきましたことに感謝申し上げます。上期も残り2カ月を切りましたが、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■DVD絶賛配布中! ぜひご利用ください。

今年完成した新DVD「心つないで、世界へ」(15分)は、“感動!”、“誰もがもっと寄付をしたくなる”との声をいただいております。まだご覧になっていないクラブは、ぜひご注文ください!

無料でお送りします。

詳しくはこちら : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/video.html>



「ハイライトよねやま」は、毎月1回発行している
ロータリー米山記念奨学会のニュースレターです。

文庫通信 (267号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2008～2009年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	42,120	社会保険料預り金	153,202
普通預金	8,234,480	雇用保険料預り金	46,162
定期預金	0	負債合計	199,364
現預金合計	8,276,600	正 味 財 産	
仮 払 金	376,380	次期繰越剰余金	8,453,616
合 計	8,652,980	合 計	8,652,980

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	23,296,150	委員会費	1,398,642
雑収入	135,137	業 務 費	9,419,017
		賃貸管理費	9,472,613
		人 件 費	7,651,068
		予 備 費	0
当期合計	23,431,287	当期合計	27,941,340
前期繰越収支差額	12,963,669	当期収支差額	△4,510,053
収入合計	36,394,956	次期繰越収支差額	8,453,616

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



■ 国際ロータリーニュース

ロータリーと国連が密接な協力を約束

国際ロータリー・ニュース：2009年11月13日

「ロータリーと国連の長年の関係は、市民社会が国際的組織と手に手を取って協力すれば偉大な功績を収めることができるということを証明するものです」

11月7日にニューヨークの国連本部で行われたロータリー国連デーは、国連広報局で非政府組織との関係を担当するマリア・ルイサ・チャベス局長の言葉で始まりました。この日、ロータリアン、国連関係者、ロータリー青少年プログラムの参加者を含む1,600人以上が、水、識字、保健、青少年に関する問題についてパネル討論に参加しました。



1945年以来、国連と協力してきたロータリーは、数多くの国連機関の監督を行う国連経済社会理事会により、非政府組織としては最高の諮問的地位を与えられています。



11月7日にニューヨークで行われたロータリー国連デーで、ロータリアンに話しかけるジョン・ケネディ会長(上)。国連目標の支援に向けて密接に協力していくことを目指したグローバル・コンパクトと国際ロータリーの合意について発表する国連グローバル・コンパクトのガビン・パワー副理事(下)。

Rotary Images

今年のロータリー国連デーでは、持続可能で責任ある事業慣行を通じて、国連目標を協力して支えていくことを目指す国連グローバル・コンパクト (Global Compact) と国際ロータリーの合意が発表されました。この合意は、グローバル・コンパクトの地域ネットワークと 33,000 以上にも及ぶロータリー・クラブとの間での合同活動やプログラムを推進することを目的としたものです。

「ロータリーの基本理念である『超我の奉仕』と『四つのテスト』は、国連の中核的理念と、包括的かつ公平で持続可能なグローバル経済の発展を目指すグローバル・コンパクトの使命に、実に見事に一致しています」と、グローバル・コンパクトのガビン・パワー副理事は話します。

2000年に発足した国連グローバル・コンパクトは、人権、労働、環境、腐敗防止の分野において国際的に認められている10原則を、ビジネスの経営や政策に組み入れることに専心している企業のためのイニシアチブです。

第2640地区 出席報告 (2009年10月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	10月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	10月 出席率	平均 出席率
	08.7.1	10月末	10月	累計	10月	累計					08.7.1	10月末	10月	累計	10月	累計			
有 田	37	37	0	0	0	0	4	88.54	88.66	大 阪 金 剛	31	31	0	0	0	0	5	89.68	89.34
有 田 南	30	32	2	2	0	0	4	91.97	95.91	大 阪 狭 山	5	5	0	0	0	0	5	96.00	91.76
有 田 2000	14	14	0	0	0	0	4	83.93	88.19	りんくう泉佐野	27	27	0	0	0	0	4	71.62	75.68
藤井寺しゅら	15	15	0	0	0	0	5	97.30	97.10	堺	77	79	1	3	1	1	4	81.63	85.97
御 坊	52	51	0	0	1	1	5	82.04	85.81	堺 東	33	34	0	1	0	0	3	97.85	98.16
御 坊 東	18	18	0	0	0	0	3	79.63	83.22	堺 北 西 南 西	19	19	0	0	0	0	4	72.21	73.28
御 坊 南	26	28	1	2	0	0	4	85.00	86.87	堺 泉 ケ 丘	21	21	0	0	0	0	4	96.43	94.92
羽 曳 野	26	25	2	3	2	4	4	87.50	83.00	堺 北	31	31	0	1	0	1	5	81.37	82.75
羽 衣	22	22	0	0	0	0	5	87.26	87.69	堺 南	28	29	0	1	0	0	3	76.00	84.25
阪 南	13	13	0	0	0	0	4	98.07	99.52	堺 中	25	24	0	0	1	1	4	73.37	69.91
橋 本	50	51	1	2	1	1	4	97.85	93.97	堺 西	17	19	0	2	0	0	4	90.69	89.12
橋本紀ノ川	17	17	0	0	0	0	4	91.18	86.99	堺おおいずみ	31	31	0	0	0	0	4	89.52	88.28
岩 出	27	28	0	1	0	0	5	96.43	94.07	堺フェニクス	25	28	1	3	0	0	4	83.34	80.35
和 泉	37	36	0	0	1	1	4	79.19	76.42	堺 清 陵	20	20	0	0	0	0	4	91.25	88.23
和 泉 南	31	31	0	0	0	0	3	54.83	58.38	堺 東 南	12	12	0	0	0	0	4	97.22	99.31
泉 大 津	47	49	0	2	0	0	5	76.82	79.35	泉 南	18	19	0	1	0	0	5	81.17	82.62
泉 佐 野	30	32	1	3	0	1	4	90.56	94.42	新 宮	59	60	1	2	0	1	3	78.89	83.01
海 南	42	42	0	0	0	0	4	71.43	73.60	白 浜	12	14	0	2	0	0	5	92.86	96.62
海 南 東	64	67	0	3	0	0	3	80.30	81.89	忠 岡	12	11	0	0	0	1	4	47.50	47.02
海 南 西	22	22	0	0	0	0	4	89.09	87.91	太 子	11	13	1	2	0	0	4	81.22	79.85
貝 塚	17	16	0	0	0	1	4	100	100	高 石	26	27	0	1	0	0	4	74.74	76.53
貝塚コスモス	20	20	0	0	0	0	4	89.61	93.83	高 師 浜	18	19	0	1	0	0	4	76.47	84.68
関西国際空港	23	25	0	2	0	0	4	86.00	78.61	田 辺	85	86	0	2	0	1	5	86.81	87.73
河 内 長 野	30	32	0	2	0	0	5	80.40	82.60	田 辺 は ま ゆ う	30	34	0	4	0	0	4	87.88	90.63
河 内 長 野 東	30	30	0	0	0	0	4	91.30	90.67	田 辺 東	48	49	0	1	0	0	4	81.25	94.80
岸 和 田	44	42	0	0	0	2	4	83.11	86.31	富 田 林	32	33	0	1	0	0	5	66.92	76.05
岸 和 田 東	54	53	0	0	1	1	5	93.33	92.39	富 田 林 南	20	19	0	0	0	1	5	77.78	73.40
岸 和 田 北	22	21	0	0	0	1	3	100	100	和 歌 山	66	71	0	5	0	0	4	85.55	84.41
岸 和 田 南	19	21	0	2	0	0	4	89.28	90.36	和 歌 山 アゼリア	43	45	1	2	0	0	3	81.47	82.10
粉 河	19	19	0	0	0	0	4	100	96.70	和 歌 山 東	53	52	0	1	0	2	4	89.88	92.74
高 野 山	23	24	1	1	0	0	5	95.00	97.27	和 歌 山 城 南	39	38	0	0	1	1	4	91.92	92.35
串 本	11	11	0	0	0	0	4	74.99	73.93	和 歌 山 北	45	52	0	7	0	0	2	77.66	80.21
松 原	35	36	0	1	0	0	4	86.96	83.97	和 歌 山 南	89	89	1	2	0	2	5	89.47	88.01
松 原 中	24	23	0	0	0	1	4	80.44	84.65	和 歌 山 中	29	29	0	0	0	0	4	85.71	82.70
美 原	24	26	0	2	0	0	4	95.70	93.80	和 歌 山 西	21	21	0	0	0	0	4	95.00	95.00
那 智 勝 浦	19	20	0	1	0	0	4	60.53	65.85	和 歌 山 東 南	41	46	0	5	0	0	4	89.21	90.89

クラブ	7月1日クラブ会員数				10月末クラブ会員数				10月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2100	女性	133	男性	2144	女性	142		10月	累計	10月	累計
72	2233				2286				85.04	14	79	9	26

12月の行事予定表(家族月間 Family Month)

1日	(火)		
2日	(水)		
3日	(木)	公式訪問:橋本RC(昼)	
4日	(金)	公式訪問:泉大津RC(夜)	
5日	(土)	第1回PETS会長エレクトセミナー(午後より) 財団学友会卓話&忘年会	全日空ゲートタワーホテル テクスピア大阪
6日	(日)	↓(午前まで)	↓
7日	(月)	公式訪問:堺南(昼)	
8日	(火)	公式訪問:田辺はまゆうRC(夜)	
9日	(水)		
10日	(木)	公式訪問:和泉南RC(夜)	
11日	(金)		
12日	(土)	河内長野東RC創立25周年記念式典	スイスホテル
13日	(日)	地区野球大会(延期) GSE帰国報告・団長、団員慰労会	紀南グランド(新宮市) アパローム紀の国
14日	(月)		
15日	(火)	公式訪問:高石RC(昼)	
16日	(水)		
17日	(木)	公式訪問:田辺RC(昼)	
18日	(金)		
19日	(土)		
20日	(日)	2010~11年度長期派遣学生第2回オリエンテーション(保護者同伴) 2009~10年度長期受入学生への第3回オリエンテーション 2010~11年度長期派遣学生・受け入れ学生・ROTEXとの交流会	和歌山勤労者センター
21日	(月)		
22日	(火)		
23日	(水)		
24日	(木)		
25日	(金)	インターアクト海外研修【新型インフルエンザの為中止】	韓国【中止】
26日	(土)	↓	↓
27日	(日)	↓	↓
28日	(月)	↓ ガバナー事務所年末年始休暇	↓
29日	(火)	↓	
30日	(水)	↓	
31日	(木)	↓	



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23

サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-mail info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/murakami/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

ガバナー事務所 年末年始休暇のお知らせ

12月28日(月)~1月4日(月)までお休みです。